

積

積
流
流

積

ず さすぐ

姿

】 っ

姿

((

姿

(

姿
流
姿

存

本

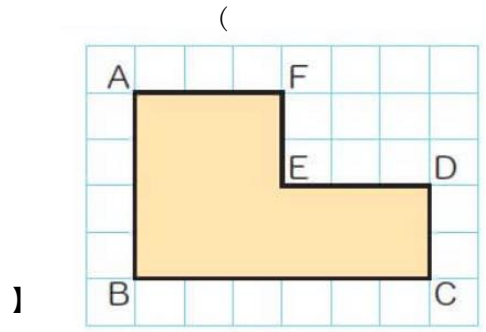
姿

流

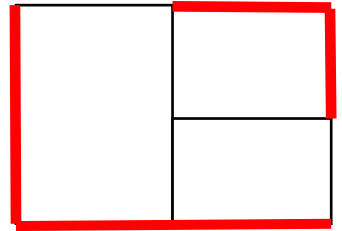
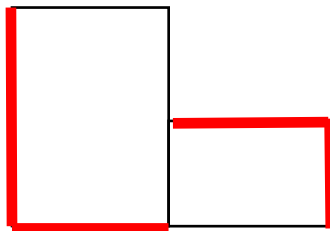
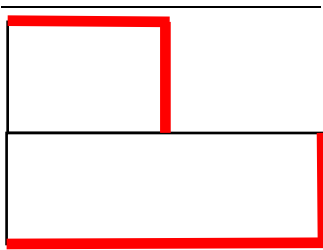
(積 (

っ ず さ すぐ

姿



】 っ に

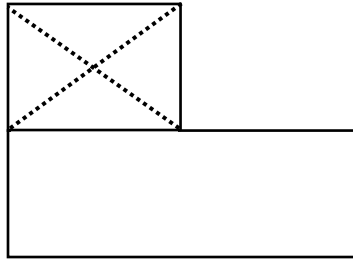


姿

姿

姿

姿



】 っ

報

存

に

姿

にに

姿

報

積

存

存

姿

に

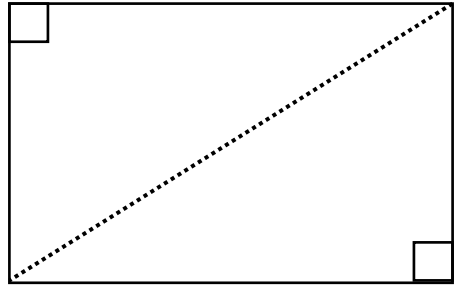
流

に

切

切

】 っ



】 っ
存

積

に

切

姿

(

積

に に

積

流

活動	活動の内容	教師の働きかけ
広さの表し方を考えよう	①「広さ」のイメージや知っていることを出し合う。その後、正方形と長方形の広さくらべを通して、広さと周りの長さの関係について確かめる。 ②「18本の柵でできる囲いの大きさ」の課題を通して、単位正方形を用いることの良さ気づき、面積の表し方について考える。 ③「19㎡の形は作れないか」の活動を通して、「縦×横」の表し方の面積の形があることに気づかせる。	・広さも直接比較や間接比較、そして任意単位のいくつ分で比べられることを確かめさせていく。 ・単位面積のいくつ分で数値化するという考えを引き出し、公式としてまとめる。

- ・1cm²の面積である形は、単位正方形だけではないことに気づかせる。
- ・面積が広がると、1cm²や1㎡では空位が多くなり、面積の大きさが捉えづらくなることに気づかせる。
- ・1aの大きさを実感する機会を設けることで、単位について理解を深める。
- ・子どもたちが見出した面積の求め方の工夫を言語化して意味づける。
- ・工夫して面積を求める面白さが感じられるような問題を提示したり、面積を調べてみたいと思う状況を設定したりする。
- ・本単元の学びを1枚にまとめさせる。

	④「12cm ² の形を作ろう」の活動を通して、面積の性質（保存性・加法性）に気づくとともに、面積を計算で求めることに慣れる。また、直角三角形の面積の求め方についても考える。
工夫して面積を求めよう	⑤「1㎡=10000cm ² 」であることについての理解を確かめるものにする。また、1aや1haをもとに面積の単位間の関係を考える。 ⑥1㎡や1aの大きさの正方形を運動場に描くなどして、広さについての感覚を豊かにする。 ⑦複合図形（L字型）の面積の求め方を考え、その考えた方法を説明する。 ⑧面積を二等分する問題解決の活動を通して、図形の性質を利用して解決する良さや面白さを発見する。 【本時】
面積の求め方の工夫を活用しよう	⑨⑩⑪面積を扱った問題解決に取り組んだり、学校の様々な場所（運動場や体育館など）の面積を測定したりする。 ・大きさの違う2つの正方形を合わせた面積は？ ・辺の長さを2倍に伸ばした図形の面積は？ など ⑫本単元での自分の学びを振り返る。 ・「わたしの面積の学びマップ（A31枚）」を作成する。

姿

姿

『

姿

姿

<

姿

姿

子どもの考え①

$6 \times 9 - 2 \times 5 = 44$
(L字型の面積)

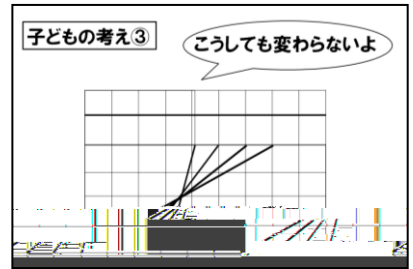
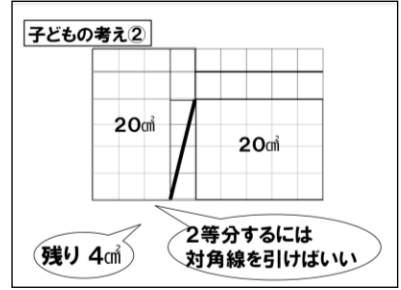
$44 \div 2 = 22$
→「1つを22cmにすればいい!」

$22 \div 4 = 4.5$
→直線一本ではない!

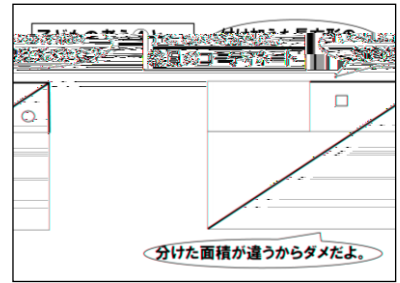
$22 \div 9 = 2.44\dots$
→わり切れない!

計算で処理しようとしたが・・・うまくいかない

姿
姿
姿

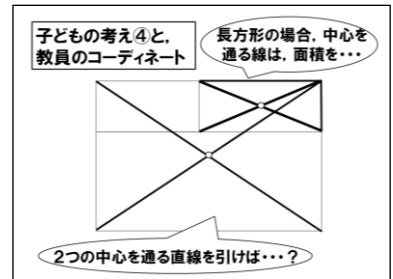


姿
姿
姿



姿

存
存
ずくさすぐ
ずくさすぐ



に

姿

存

に
に
に
に

く

に
に

存